



4 日本文化の世界への発信等

(法務省, 外務省, 財務省, 国土交通省, 文部科学省, 文化庁)

おもてなしをはじめとする日本の精神文化の拠点であり, 高い国際競争力と世界への発信力を持つ都市として, 文化芸術立国及び観光立国の実現に資する。同時に, かけがえのない日本の歴史, 伝統, 文化, 心を, 絶やすことなく未来に引き継ぐ「文化の強靱化」のために中核的役割を担う。それらの京都ならではの役割を果たすため, 次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 「日本遺産」制度における京都の有形・無形文化遺産の認定
- (2) 留学生に対する就労支援
- (3) 日本文化を世界に発信するための国立京都国際会館における5,000人規模の多目的ホールへの早期拡充整備
- (4) 2016年サミット (主要国首脳会議) 閣僚会合の京都開催の実現
- (5) 世界博物館大会, スポーツ・文化ダボス会議の京都開催の実現

(1) 「日本遺産」制度における 京都の有形・無形文化遺産の認定

歴史を受け継ぐ京都の使命

◇ 千年を超えて都市の文化が継承・創造・発展

千年以上も都が置かれ、わが国の政治・文化・宗教の中心であり続けた京都は、奥深い多様な文化を積み重ね、革新と想像を繰り返しながら発展してきた世界的にも稀有な都市である

～京都の使命～

京都は日本の歴史、伝統、文化、心を今に受け継ぐ都市として、市独自の制度を創設し、日本文化の神髄とも言えるあらゆる文化遺産を維持、継承、活用するための先駆的取組を進めている

今後、我が国の「文化の強靱化」のために、京都は中心的役割を果たす

「日本遺産」候補

茶の湯文化



琵琶湖疏水と庭園群



日本遺産にふさわしい、京都の様々な遺産を『日本遺産』に認定することにより、国内のみならず、世界へ日本の文化を発信することができる！

(2) 留学生に対する就労支援

就労機会の拡大による留学生誘致の推進

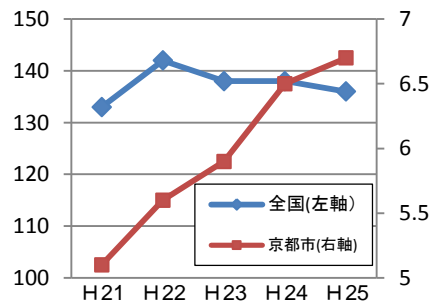
◇ 平成23年度以降、国全体の留学生数が減少傾向にある中、本市では着実に増加

【京都市独自事業】

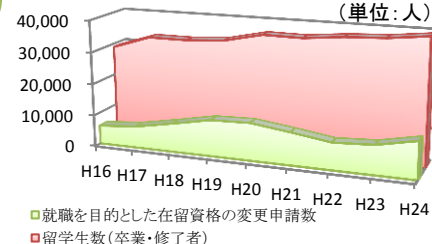
- 京都の大学紹介フェアの開催
平成22年度から毎年海外で直接、京都の大学の魅力をPR (H26.12に台湾で開催)
- 短期留学受入プログラム
大学コンソーシアム京都と協働で、留学生の短期受入事業を実施
※26年度プログラム開発、27年度受入予定

◆ 日本で学ぶ留学生は、年間約4万人が大学・大学院等を卒業・終了しているにもかかわらず、日本国内での就職は1/4にとどまる

《参考》留学生数推移 (単位:千人)



《参考》留学生数と留学生就職希望者推移 (単位:人)



就労ビザへの変更及び留学生の採用に当たっては、従事内容と大学等の専攻科目との間の「関連性」及び従事内容を遂行するに当たっての「専門性」が求められる。

課題

しかしながら、法務省が定める基準が不明確であり、従事可能な業務の範囲が不明確。特に、レストラン等での接客業務においては、関連性や専門性の観点から不許可となる場合も多く、雇用主が積極的に採用を検討しにくい。

外国人の利用が多い観光関連施設での接客業務への従事を原則的に可能とするなど、卒業・修了後留学生の従事可能職務制限の緩和や基準の明確化が必要！



(3) 国際会館における5,000人規模の多目的ホールへの早期拡充整備

現状

◆ 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	メイン会議場 収容人数	メイン展示場 面積
日本	国立京都国際会館	1,840名	3,000㎡
日本	福岡国際センター	6,000名	3,425㎡
日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000名	20,000㎡
日本	東京国際フォーラム	5,000名	5,000㎡
韓国	コエックス会議・展示センター(ソウル)	7,000名	10,000㎡
中国	香港会議・展示センター	8,000名	20,000㎡
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名	12,000㎡
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500名	30,000㎡

5,000名が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダード

現在の施設整備

(2,500人規模)の概要

○平成26年度国当初予算

主要室等:展示ホール(2,000㎡:2,500人規模)

予算額:6,200万円

敷地調査費:1,100万円

設計費:5,100万円

○主なスケジュール

敷地調査:26年7月~12月

設計:26年9月~28年2月

工事:27年度~30年度(予定)

課題

◆ 国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた国際会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
25	国際小児科学会	5,000人規模の会議スペース, 12,000㎡の展示場	オーストラリア
25	国際腎臓学会	3,000人規模の会議スペース, 10,000㎡の展示場	香港
25	世界肺癌学会	5,000人規模の会議スペース, 10,000㎡の展示場	オーストラリア

5,000人規模の多目的ホールを整備することによる効果



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国際会議の受入れの増加が見込まれる中、日本文化の神髄ともいべき京都で国際会議をより多く開催することで日本文化をさらに世界に発信することが可能に!



国際貢献の機会を増やし、国際社会における日本の国力向上に大きく寄与することができる!

(4) 2016年サミット(主要国首脳会議)閣僚会合の京都開催の実現

《京都の強み》

- ◆ 京都には多くの世界文化遺産に代表される、悠久の歴史に裏付けられた様々な文化コンテンツが集積
- ◆ メイン会議場は日本の伝統文化の神髄が結集し、匠の技が随所に生かされた京都迎賓館を予定



《京都開催の効果》

- ◆ 主要国の閣僚クラスやその同行者、または多数の海外メディアなど、**発信力の強い人々に対して京都に集積する日本文化の神髄を直接体感いただくことができ、日本文化の理解の促進や我が国の国際競争力の強化にも寄与**



(5) 世界博物館大会, スポーツ・文化ダボス会議の京都開催の実現

《概要》 世界博物館大会(ICOM大会)とは

- ◆ 世界137の国・地域の博物館専門職員約3万人を会員に持つ国際博物館会議(ICOM)が3年に1度開催
- ◆ 直近(2013年)のブラジル・リオデジャネイロ大会は、約2千人が参加。次回(2016年)はイタリア・ミラノでの開催が決定している ※日本では未開催

《概要》 スポーツ・文化ダボス会議とは

- ◆ ダボス会議史上初の、スポーツと文化の世界会議が2016年秋、日本において開催予定(世界経済フォーラム主催)
※ ダボス会議:毎年1月にダボス(スイス)において開催されている世界経済フォーラム
- ◆ 世界各国の政治、経済のリーダーやトップアスリート、アーティストが参加

《京都開催の効果》

- ◆ 各国の文化のキーパーソンが京都に一同に会することにより、**京都の魅力を国内外へ発信することに寄与**
- ◆ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を目前にした、我が国の国際的注目度が高まるタイミングに、**文化首都京都を国内外に発信する絶好の契機となり、京都の都市格の向上、ひいては日本ブランドの向上に繋がる**